

観光戦略課

電話 (内線) 2910

(直通) 0742-34-4739

第1回珠光茶会の開催について
～茶の湯の華開く 奈良の都～

第1回珠光茶会の開催概要がまとまりましたので、資料提供いたします。

1. 珠光茶会開催の意義

- 「わび茶」は、室町時代の茶人で奈良出身である珠光が創始し、利休が大成させて全国に普及したと言われている。現在の茶道の源流とも言える奈良のお茶文化に触れていただき、凜とした冬の古都の味わいを活かして、お茶会を開催する。
- 三千家が一堂に会し、奈良市内の世界遺産を含む七社寺や、歴史的な町並みが残る「ならまち」のお茶室を会場として開催するお茶会とする。
- 期間中は、お茶席だけでなく、お茶に関するシンポジウムや「ならまち」でのエクスカーションなども開催し、お茶文化を広く紹介する。
- 普段から本格的にお茶に親しんでいる方だけでなく、お茶に親しむ機会の少ない市民や観光客の方など、幅広い層にお茶に親しんでいただき、奈良におけるお茶文化の裾野を広げていく。

2. 開催日 平成26年2月12日(水)～2月16日(日) (5日間)
午前9時～午後4時
詳細日程は別添のとおり

3. 会場 ・奈良市内七社寺
(春日大社、元興寺、西大寺、大安寺、唐招提寺、東大寺、薬師寺)
・「八窓庵(奈良国立博物館内)」「名勝大乘院庭園文化館」
・「ならまち」

4. 主催 珠光茶会実行委員会
(七社寺の代表と奈良市長で構成/奈良市・奈良市観光協会が事務局を担当)

5. 参加茶道流派

表千家、裏千家、武者小路千家、遠州流

6. 予定来場者数

約4,000名

7. 珠光茶会の構成

【お茶席】七社寺、「ならまち」界隈のお茶室で、お茶や点心を実施。

【特別展】「ならまち」にて、お茶道具や、奈良の伝統工芸品、歴史ある貴重な大工道具などを特別展示。

【シンポジウム】

期間の中日である2月14日に、お茶文化に造詣の深い熊倉功夫氏や有馬頼底氏、神津朝夫氏を招いてのシンポジウムを開催。

【エクスカーション】

「ならまち」で実施されているお茶席や特別展を、観光ボランティアガイドの案内で散策しながら、奈良の文化に深く触れていただくガイドツアーを実施。

8. お茶券の種類

【5,000円券】

- ・2月12日、13日、15日、16日（各300枚）
- ・「お茶席（3席分）」「点心席」「社寺拝観」「お茶席巡回バス乗車」

【3,000円券】

- ・2月14日（300枚）
- ・「お茶席（東大寺1席分）」「点心席」「シンポジウム入場」「東大寺拝観」

【1,000円券】

- ・2月12日（400枚）、13日（850枚）、14日（800枚）、15日（400枚）、16日（400枚）/会場は日ごとに設定
- ・「お茶席（1席分）」「会場見学・拝観」

七社寺以外では、「八窓庵（奈良国立博物館内）」（13日）、「名勝大乘院庭園文化館」（15日・16日）の1,000円券を販売。

9. お茶券の販売

【期間】平成25年12月4日（水）～平成26年2月5日（水）

受付時間：午前9時～午後5時

休館日：平成25年12月10日・17日・24日、

12月28日～平成26年1月4日、

1月7日・14日・21日・28日、2月4日

【方法】電話申込み / 窓口受付

12月4日予約受付開始、お茶券の発送・窓口販売は12月18日(水)から

【場所】なら100年会館

: 0742 - 34 - 0111

〒630-8121 奈良市三条宮前町7 - 1 (JR 奈良駅西口すぐ)

10. シンポジウムの概要

【日時】2月14日(金) 午後1時~午後3時

【場所】東大寺総合文化センター 金鐘ホール (300席)

【内容】「奈良の茶の湯 ~日本のおもてなし文化~」

第1部 基調講演

○ 熊倉 功夫氏 (静岡文化芸術大学学長)

第2部 パネルディスカッション

○ パネリスト(予定): 有馬 頼底氏 (臨濟宗相国寺派管長)

神津 朝夫氏 (帝塚山大学講師)

熊倉 功夫氏 (静岡文化芸術大学学長)

別添 【詳細日程】

	会場	2/12 (水)	2/13 (木)	2/14 (金)	2/15 (土)	2/16 (日)
春日 大社	桂昌殿	武・ (300名)	武・ (300名)			
		本席 300名	本席 300名			
元興寺	泰楽軒 & 禅室広間	遠・ & (400名)				
		本席 300名				
西大寺	奥書院 (本坊内) & 光明殿	表・ / 大茶盛 (600名)	大茶盛 (600名)	大茶盛 (600名)	表・ / 大茶盛 (600名)	表・ / 大茶盛 (600名)
		本席 300名	大茶盛 300名	大茶盛 600名	大茶盛 600名	本席 300名
大安寺	会館				裏・ (300名)	裏・ (300名)
					本席 300名	本席 300名
唐招提寺	本坊 & 萩の間					表・ (300名)
						本席 300名
東大寺	集会所		裏・ (500名)	裏・ シンポジウム (500名)		
			本席 300名	一般席 200名		
薬師寺	まほろ ば会館		遠・ (300名)		裏・ (300名)	
			本席 300名		本席 300名	
その他			八窓庵・ (一般席 50名)		大乘院・ (一般席 100名)	大乘院・ (一般席 100名)
点心席 会場		西大寺 (興正殿)	東大寺 (本坊大広間)	東大寺 (本坊大広間)	西大寺 (興正殿)	西大寺 (興正殿)

赤枠：5,000円券

緑枠：3,000円券

青枠：1,000円券

【凡例】

「表」：表千家 / 「裏」：裏千家 / 「武」：武者小路千家 / 「遠」：遠州流

「 」：濃茶席(畳上) / 「 」：薄茶席(畳上) / 「 」：薄茶(立礼席)